

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成22年度第1回行田市郷土博物館協議会
開 催 日 時	平成22年8月25日（水） 開会；午前10時00分 ・ 閉会；午前11時40分
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室
出席者（委員） 氏 名	中居恵子 篠田豊和 大友務 東美智子 永沼規美雄 鈴木征子 松本秀夫 落合美帆 若松良一
欠席者（委員） 氏 名	榎本武弘
事 務 局	館長 大山能則 主査 鈴木紀三雄 主査 門脇伸一 主査 吉田芳子
会 議 内 容	平成22年度上半期事業報告 平成22年度下半期事業計画 その他
会 議 資 料	平成22年度第1回行田市郷土博物館協議会次第 名簿 平成22年度第1回行田市郷土博物館協議会資料
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人1名

発 言 者	会 議 の 経 過 ( 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 )
<p>会 長</p> <p>委 員</p> <p>会 長</p> <p>事 務 局</p> <p>会 長</p> <p>委 員</p> <p>事 務 局</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民憲章唱和</li> <li>* 委嘱状交付</li> <li>* 参事あいさつ</li> <li>* 自己紹介・事務局自己紹介</li> <li>* 会長・副会長選任</li> </ul> <p style="text-align: center;">互選により会長に大友委員、副会長に東委員就任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 会長あいさつ</li> </ul> <p><b>議 事</b></p> <p>これより議事に入るが、本日の議事について公開としてよいか。公開としてよい。 (傍聴人1名)</p> <p>本日の議事録の署名人については、中居委員、篠田委員にお願いする。</p> <p>では、早速(1)の平成22年度上半期事業報告に移る。管理部門からお願いする。</p> <p>(事務局より、管理部門 資料の1-1~3を説明) (事務局より、学芸部門 資料の2~5を説明)</p> <p>ただいまの報告について何かご意見、ご質問はあるか。聞きなれないことばもあると思うので、これはどういう意味かというようなことでもよい。</p> <p>22年度よりも21年度の無料入館者が多い理由は何か。</p> <p>昨年度は施設利用(企画展示室パッチワーク展)に伴う入館者(入館料免除)が多かったことや、埼玉県名刀展開催に当たって「刀剣保存会」等の協力団体に当館の招待券を配布したことが原因と思われる。</p> <p>小学生の無料入館者が前年同期よりも減少していることについては学校関係委員のご意見を伺いたい。</p> <p>博物館見学は、学校の授業の進度に合せると2学期から3学期で</p>

	あることや、総合学習の時間は同じなので、年間を通すと市内小学生の入館者数はあまり変化しないと思う。
事務局	昨年度は市外の学校の遠足もあり、多かった。
委員	未就学児も増えているが、理由は何か。
事務局	客層の変化である。未就学児はすべて無料であり、親子連れ、家族連れが増えている。「よろいをきょう」も、大人用鑑2領、子ども用1領があるので、家族で楽しむ姿も見られる。
会長	次に下半期の事業計画についてお願いします。
事務局	(事務局より、資料の6ページから7ページまで説明)
会長	ただいまの件について何かご意見、ご質問はあるか
委員	博物館としての格調の高さは大切だがタイトルが硬い。企画展のネーミングについて、「自分に身近に感じられる表現・キャッチコピー」を考えてはどうか。利用者と直結するものなので、予算的に間に合うものも間に合わないものもあると思うが、大人・子ども双方に理解できるよう、よいものをつくるよう検討してほしい。企画展は、今日的課題を含んでいるので良い展示になると思う。
事務局	ネーミングだけでなく、展示物個々の説明文についても工夫を凝らすなど理解しやすい魅力あるものにしたい。
会長	せっかく家庭教育関係の方もお見えなので、お子様にも博物館の展示を見せ、ご意見をお聞かせいただきたい。他に何かご質問は。
委員	マスコミへの広報はどうしているのか。
事務局	新聞社は、熊谷市役所内の記者クラブの投込用ポストに情報を入れている。ミニコミ紙やNHK、テレビ埼玉等は郵送している。
委員	最近、IPM(総合的害虫管理)が主流になっているが、ガス燻

	蒸を実施する理由は何か。
事務局	常設展示室は過去 10 年燻蒸を行っていない。復元住居に藁を使用しているため、IPMでは限界があるため、ガス燻蒸を行う。
委員	「のぼうの城」映画化に伴い、史実とフィクションの違いもあるので、博物館としての今後の対応や協力について伺いたい。
事務局	大阪城天守閣などから資料を借用し、特別展「石田三成と忍城水攻め」を開催する。博物館は史実とフィクションの交通整理をしなければならないと考えている。
会長	まさにそのとおり。史実と映画の世界は違う。和田竜氏と対談した時、「『成田記』を信じるしかない」と言っていたが、『成田記』ですら、その時代から200年後くらいに書かれている。
委員	むかしのくらし展については、ボランティアから解説していただき理解が深まり、子どもたちも喜んでいる。ミュージアム通信も全校配布してもらっており、学校としては配慮してもらっている。
事務局	むかしのくらし展は、今年度はラウンジ展示となるが、博学連携検討委員会の意見を踏まえ、より良いものにしたいと考えている。ボランティアの解説は今後も継続する。
会長	博学連携については、互いに遠慮がないように、良い方向へ進めてもらいたい。館長挨拶にもあったとおり、委員には、会議の時に限らず遠慮なく意見を言ってほしい。次に(3)その他に移る。事務局よりお願いしたい。
事務局	(事務局より資料の8ページについて説明) 1泊2日の視察研修の件だが、市バスを利用し、文化財保護審議会と合同で実施したいかどうか。
会長	ウィークデーになるが、市バスを利用する都合上やむをえない。強制ではないが極力参加してほしい。行き先については、事務局と文化財保護課で調整してもらおうということでご了承いただきたい。

	せっかくの機会なので他に何かご意見はあるか。なければ、3項目について、ひととおり議事が終わったので議長の任を降りさせていただきます。
事務局	長時間に渡りましてありがとうございました。最後に閉会のことばを東副会長よりお願いいたします。
副会長	閉会（東委員）